

泰明だより



Taimei・令和2・1

泰明小ホームページ <http://www.chuo-tky.ed.jp/taimei-es/>

中央区立泰明小学校 第351号
中央区銀座五丁目1-13
Tel 03(3571)1765
Fax 03(3571)0672

新年に思う

校長 浮津 健史

新年明けましておめでとうございます。

令和2年 泰明小学校の3学期が始まりました。フランス門で朝子どもたちを迎えると、門のところでしっかり立ち止まりあいさつする子どもたちがたくさんおり、これも素晴らしい泰明小学校の伝統であると感じます。

さて、今年はずいに待ちに待ったオリンピック・パラリンピック大会が行われます。各種目の大会でも、オリンピック・パラリンピック代表が決まり、大会に向けた抱負を聞くことがあります。

多くの選手が、すぐに代表選手になったのではなく、重要な大会で予想に反して負けてしまったり、怪我をってしまった後、練習方法や生活を見直して、改めて大会に臨み、代表選手になっています。「失敗は成功の母」といいますが、失敗したことから何を学ぶかと言うことはとても大切なことだということが分かります。また、選手の多くは、挫折しそうになったときに助けてくれた仲間への感謝も忘れません。練習パートナーや食事の準備してくれた人のことなどたくさんの人に支えられていることが挑戦への原動力になっていたのかもしれない。

「学校は失敗するところだ。」「学校は失敗してもよいところだ」とよく言われます。

この言葉の根底には、失敗したことを受け止めてくれる周囲の仲間がいるということがあります。失敗を笑われたり、馬鹿にされたりすることがあれば、気持ちは前向きにならず改めて挑戦しようという気持ちにはなりません。学校においても、いろいろなことに挑戦する友達に対して心から応援できるような友達がたくさんいる場になってほしいと思います。

楽しい学校づくりをすすめる一環として、昨年の11月に「いじめに関するアンケート」、12月には「体罰に関するアンケート」をとりました。今後も、様々な機会を通して子どもたちの気持ちを受け止め、よりよい学校づくりを教職員一同すすめて参ります。保護者の皆様におかれましても、お子様のことで心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校にご相談くださるよう改めてお願いします。

本年も、ご協力よろしくお願ひいたします。

校長相談日 1月16日(木)
9:00～14:00

1月のカレンダー

このマークはセカンドバッグ登校日です。

1	水		元旦	
2	木			
3	金			
4	土			
5	日			
6	月			
7	火		冬季休業日終	
8	水		始業式 身体測定(6) PTA賀詞交歓会	B
9	木		給食始 席書会 身体測定(5) 宇佐美学園始業式	B
10	金	泰明読書	席書会 身体測定(1・2)	A
11	土		新年子ども羽根つき大会	
12	日			
13	月		成人の日	
14	火	泰明読書	身体測定(3・4) 登下校安全確認旬間始	A
15	水		安全指導 りぷりんと	B
16	木		書き初め展始 地域巡回指導	B
17	金	泰明読書	学校公開①～④	A
18	土		土曜授業(3時間) 登下校安全確認旬間終	B
19	日			
20	月	講話	委員会活動⑥ 学級活動(5)	A
21	火		書き初め展終 プログラミング教育(4)①～④ みゆき通り清掃	A
22	水			B
23	木			B
24	金	泰明読書	学校評議員会	A
25	土			
26	日			
27	月	講話	クラブ活動⑨(3年生見学)	A
28	火	泰明タイム・読書	囲碁教室(4)②③	A
29	水		りぷりんと	B6
30	木			B
31	金	保健講話 (林先生)	囲碁教室(4)②③	A

() は学年、○は実施する授業時間です。

席書会・書き初め展

文化委員会 別府陽子

席書会とは、江戸時代に始まった書道の展覧会のことだそうです。泰明小学校でも3学期初めの行事として、9日・10日に席書会が行われます。1・2年生は硬筆で、3～6年生は毛筆で作品を書きます。普段書き慣れている文字を、改めて一文字一文字丁寧に書くのは新鮮な感覚です。席書会当日は、子ども達の息づかいが聞こえるほどの静けさです。日本の文化の一つである墨や筆を使って文字を書くことは、貴重な体験です。年に一度のこの機会を通して、伝統である書に親しんでほしいと思います。今年の書き初め展は下記の日程で行います。会場に感想用紙を用意しますので、子ども達へのすてきなメッセージをお願い致します。

場所：講堂 日時 1月16日（木）・1月17日（金）8：30～16：00
1月18日（土）8：30～11：30
1月20日（月）8：30～16：00
1月21日（火）8：30～15：30（片付けのため）

囲碁教室

4学年担任 中迫亮佑

4年生は1月28日より4回に渡って囲碁教室を体験します。今春には、日本囲碁界で史上最年少のプロ棋士となった小学4年生の仲邑菫さんも話題となり、人々の関心が高まっています。

囲碁の起源は、将棋の歴史よりも深く、四千年ぐらい前の中国と言われていますが、インドやチベット発祥など異説もあります。日本では、平安時代の書物である「枕草子」や「源氏物語」に囲碁について多くの記述があり、その歴史は長く伝統的な文化の一つであると言えます。

子ども達に育成する資質・能力として、思考力、判断力、表現力があります。これを踏まえ、中央区では、子ども達の思考力や創造力の育成のために全小学校で囲碁教室を行っています。例えば、理科では、生活経験を基に根拠のある予想や仮説を立てる力等の関連が考えられます。子ども達には、この囲碁体験を通して、伝統的な文化に触れるだけでなく、学習に生かせる力を育んでほしいと思います。

昔遊び名人

1学年主任 有馬由起

生活科の単元「かぞくでいっしょにおしょうがつ」では、冬休みの体験を発表し合うことから、お手玉やコマ回し、けん玉などの昔遊びをみんなでやってみようという気持ちにつなげ、「もっと上手になりたい」とか「うまくいかないところを教えてもらおう」という意欲に発展させ、みんなで楽しく遊ぶ学習をしています。1年生は月1回、水曜日の5時間目にシニアボランティア「りぷりん」との方々に、絵本の読み聞かせをしていただいています。いつもは絵本を読んでもいただくだけなのですが、今月は昔遊びの遊び方やコツを教えていただく機会をもって、かかわりを深めていくことを予定しています。遊びを通して、地域の方とふれ合ったり友達と教え合ったりすることで、自分の成長を感じたり周りの人に感謝する気持ちをもてるようにしていきたいと考えます。子どもたちが夢中で昔遊びに挑戦し、もっといろいろな遊びに挑戦してみたいとがんばる姿が楽しみです。

そろばん教室

3学年主任 大竹秀子

ほとんどの初めてのそろばんに挑戦した3年生。そんな3年生にゲストティーチャーとして、東京都珠算教育団体連合会の谷先生が、教えてくださいました。数字の歌と一緒に、そろばんの玉を、親指やひとさし指を使ってはじいていきます。最初は慣れない手つきだった3年生も、何度も練習して、最後は上手にはじけるようになりました。また、谷先生が見せてくださったいろいろな国のそろばんや様々な大きさのそろばんにも興味津々で見せていました。4年生の算数の授業につなげたいです。